

事業所名 グループホーム いこい

日付 平成 20年 2月 16日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴 7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

職員の入替りはほとんど無く、職員は入居者の性格をよく理解し、家族との信頼関係も深まっています。そして、見守りに関しても職員間の声かけもあり、連携がよく取れていると思います。

「グループホーム中に閉じこもっているのは自分たちも嫌だから」と職員自身も思っているため、ドライブや外食、買い物など色々計画して、よく出かけています。天気がよければ散歩には毎日のように出かけています。家族も協力的で、行事のときはお手伝いに参画して応援してくれています。

入居者から依頼されると出来るだけ「待つ」とは言わず、行動に移っていました。寄り添うときは、かならず言葉かけをしてから対処しているため、入居者からも会話が聞こえ、笑顔も見られていました。

精神面だけでなく看護師が記載する肉体的面と両面から1ヶ月の生活行動を書面にし、毎月家族に送っています。家族からは好評のようです。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

地域の方言もあり身近に感じますが、多用すると言葉が少しきつく感じました。また、職員が頑張りすぎているようにも見えました。無理をせず、長期に渡って継続できる様、介護に反映させて下さい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者みんなが楽しく暮らしてもらえるようにと、常に考えています。「何をすれば喜んでくれるか」職員は日々考えいろいろな行事を計画しています。ドライブ、外食、買い物など外に出かけることが多いようです。散歩しないと落ち着かない入居者もいるので、天気の良い日には毎日出かけています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	帰宅願望があるときには不安を解消することを優先しています。外に出ると落ち着くこともあるようです。一緒にお茶を飲む、歌を歌う、料理作りを手伝ってもらい、よく会話をする、ついて歩くなど職員がしていると落ち着くようです。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	居室名はプライベートな場所なので気をつけています。部屋の掃除や入浴時の準備などは入居者と一緒に行っています。昔からミシンで仕事をしてきた方にズボンの裾上げや、雑巾縫いなどをお願いすると電動ミシンを使って仕上げしてくれるそうです。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> 外部の研修会に参加し、その内容を職員に説明しています。レベルアップを図るためミーティングのとき、勉強会をしています。 誤嚥防止のため、食事をミキサー食にしたり、とろみをつけたり、補助栄養食などを利用して工夫しています。 看護師を配置して、入居者の状態の変化に素早く対応しています。また居間では転倒の危険があるので、普段からの十分に気を付けるようにしています。 		